

人間 比較文化	生物資源 生物環境 生命化学	機械情報 ソフトウェア マネジメント	国経 観光	教育 乳幼児	PA MA VA	LA
------------	----------------------	--------------------------	----------	-----------	----------------	----

保 育 士

〔表1〕 必修科目および教養科目

児童福祉法施行令に定める科目			本学で開設する科目		修得単位	備 考	
科 目	単 位	科 目	単 位				
告 示 別 表 第 1 に よ る 教 科 目	保育の本質・目的に関する科目	保育原理	2	保育原理	2	◎幼1種に同じ	
		教育原理	2	教育の原理	2		
		児童家庭福祉	2	子ども家庭福祉	2		
		社会福祉	2	社会福祉	2		
		相談援助	1	相談援助・保育相談支援	2		保育相談支援と併合科目
		社会的養護	2	社会的養護	2		
		保育者論	2	教師論	2		◎幼1種に同じ
		保育の対家の理解に関する科目	保育の心理学Ⅰ	2	発達心理学		2
	保育の心理学Ⅱ		1	教育心理学	2		
	子どもの保健Ⅰ		4	子どもの保健（からだの健康）	2		
				子どもの保健（こころの健康）	2		
	子どもの保健Ⅱ		1	子どもの保健演習	2		
	子どもの食と栄養		2	子どもの食と栄養	2		
	家庭支援論		2	家族支援論	2		
	保育の内容・方法に関する科目	保育課程論	2	幼児教育課程論	2	◎幼1種に同じ	
		保育内容総論	1	保育内容総論	2	◎幼1種に同じ	
		保育内容演習	5	保育内容の指導法（健康）	2	◎幼1種に同じ	
				保育内容の指導法（人間関係）	2	◎幼1種に同じ	
				保育内容の指導法（環境）	2	6以上 ◎幼1種に同じ	
				保育内容の指導法（言葉）	2	◎幼1種に同じ	
				保育内容の指導法（表現）	2	◎幼1種に同じ	
		乳児保育	2	乳児保育	2	2	
		障害児保育	2	障がい児保育	2	2	
		社会的養護内容	1	社会的養護内容	2	2	
保育相談支援	1	相談援助・保育相談支援	2	2	相談援助と併合科目		
保育の表現技術	保育の表現技術	音楽B	4	音楽B	2	◎幼1種に同じ	
		図工B	4	図工B	2	6以上 ◎幼1種に同じ	
		体育B	4	体育B	2	◎幼1種に同じ	
保育書	保育実習Ⅰ	4	保育実習Ⅰ	4	4		
	保育実習指導Ⅰ	2	保育実習指導Ⅰ	2	2		
総合演習	保育実践演習	2	教職実践演習（幼）	2	2	◎幼1種に同じ	
必修科目群単位合計		51	資格取得に必要な単位数		58以上		
教養科目	外国語	2以上	英語リテラシー	2			
	体育（講義・演習）	1・1	健康教育	1			
			体育	1			
	外国語・体育をのぞく	6以上	コア科目言語表現・社会文化・自然科学・総合科目群	24以上			
			情報リテラシー	2			
教養科目合計		10以上	資格取得に必要な単位数		30以上		

〔表2〕 選択必修科目

児童福祉法施行令に定める科目			本学で開設する科目		修得単位	備 考
科 目	単 位		科 目	単 位		
告示別表第2による教科目	保育の本質・目的に関する科目	各指定保育士養成施設において設定	子どもと家族の福祉	2	* 1	
	保育の対象の理解に関する科目		人間の発達と学習	2	2	
	保育の内容・方法に関する科目		児童文化	2	2以上	[表1]にあげる科目に同じ
	保育の表		保育内容の指導法（健康）	2		
			保育内容の指導法（人間関係）	2		
			保育内容の指導法（環境）	2		
保育内容の指導法（言葉）		2				
現技術	保育の表	子どもの遊びと育ち	2	* 2		
保育実習	保育実習Ⅱ	2	保育実習Ⅱ	2	3	保育実習Ⅱ 保育実習指導Ⅱ または 保育実習Ⅲ 保育実習指導Ⅲ のいずれかを選択必修
	保育実習指導Ⅱ	1	保育実習指導Ⅱ	1		
	保育実習Ⅲ	2	保育実習Ⅲ	2		
	保育実習指導Ⅲ	1	保育実習指導Ⅲ	1		
計	選択必修科目 単位合計	21			9以上	

〔備 考〕

- (1) 保育内容・方法に関する科目については、[表1]に示される5つの保育内容の指導法として履修した科目以外の科目を[表2]における履修科目に充てることとします。
- (2) * 1 * 2は、選択科目

幼児指導論（2単位）◎幼1種に同じ

を追加